



猫の殺処分ゼロをめざして

繁殖力が強い猫は犬に比べて数が増えやすく、飼い主のいない猫が増えることで、保健所に収容され殺処分される不幸な命を増やしてしまいます。鳥取市では、飼い主のいない猫も人と共生して暮らしていけるよう、地域ボランティアの方と協力してのTNRを進めています。

この10年の鳥取市の動物愛護について

- ・動物愛護センターやボランティアによる積極的な譲渡活動が進む
- ・保健所に収容され殺処分となる犬猫の頭数が大幅減（H23：420頭 R3：16頭）
- ・犬は殺処分ゼロを達成できる年も。

TNRは所有者のいない猫を捕獲し不妊去勢手術をした上で元いた場所に戻す活動です



活用事業内容 野良猫の不妊去勢手術への補助

R5年度事業費 140万円

目標額 140万円

すべての子ども達に、体験を贈りたい！

子ども第3の居場所に体験活動を

家庭や学校だけでは解決が難しい困難を抱える子ども達への支援策の1つとして、自然、文化、行事など様々な体験活動の機会を充実させます。

日常にない特別な体験によって、子ども達の自己肯定感や自尊心が育まれ、夢と希望をたくさん持って大きくなっていけることを目指しています。



鳥取市では、
“ふるさとを思い、志をもつ人づくり”を進め、
“夢と希望に満ちた次代”を“ひらく”
を基本方針として教育行政に取り組んでいます

子ども第3の居場所

目的 子どもの自立を目指す
貧困の連鎖を断ち切る

生活習慣

学習支援

体験活動

スキー

シーカヤック

遊園地

など

活用事業内容 子ども第3の居場所における体験活動

(子ども第3の居場所運営費全体としては約1900万円)

R5年度事業費 100万円

目標額 100万円

よみがえれ！鳥取城！ ～市民の熱い思いを全国へ、鳥取城を復元しよう～

戦国時代からの石垣を遺す「城郭の博物館」を 後世に歴史を伝える鳥取市のランドマークに

鳥取市は、国史跡である鳥取城跡の保存・活用に取り組んでおり、天守閣にあたる三階櫓の復元を長期目標として、建造物の復元を進めています。日本屈指の山城として全国的に評価が高まっている鳥取城を皆さんと一緒に復元することで、本市の歴史・文化を体感し後世に伝える、鳥取市のシンボルにしていきたいと考えています。

| | |
|---------|-----------|
| R5年度事業費 | 約2億4000万円 |
| 目標額 | 1200万円 |

鳥取城跡保存修理事業とは

- ・文化財の保存活用のための長期事業
- ・現在は正面玄関である大手登城路を復元中
- ・擬宝珠橋・大手門は竣工、R5年度は中ノ御門渡櫓の建設に着手
- ・二ノ丸三階櫓等の復元が長期目標

